



Vol. 8  
おてつだい

# こんにちには 絵本



— 3才頃から —



一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

2017年4月



## くらやみのかみさま

長谷川 知子 ぶん・え  
新日本出版社 2002年

とんちゃんの家は山の中にあります。いっぱい遊べて楽しいけど、暗くなるとすごく怖い。ある夜、おつかいをたのまれ坂道をかけおけると「ど〜ん！」誰かとぶつかりました。えっ、どうなるの？



## わくわく森のむーかみ

村上 しいこ さく／宮地 彩 え  
アリス館 2011年

くまの子むーかみのお父さんは、郵便局で忙しく働いています。そこで配達のお手伝いをするに。途中で、どろぼうをしているきつねのぷつぶに会ってしまいました。さあ、この後二人は…。



## がんばれ ごん

木村 裕一 作／岡村 好文 絵  
偕成社 1991年

僕は犬のごん。大好きなけいちゃんがママのおつかいでスーパーへ。でも雨が降りそうなのに傘を忘れて行っちゃった。僕が届けなきゃ。横断歩道や踏切…、ごんはじょうずに渡れるかな？



## まかしとき！

くすのき しげのり 作／のし さやか 絵  
フレーベル館 2016年

ななえちゃんが学校から帰ると、おばあちゃんが手にけがをしていました。ふだんあまりしたことがないけど、「こんなときこそ」とお手伝いを始めます。関西弁の心あたたまるお話です。



## たっくんのおてつだい

おおさわ さとこ 作  
アリス館 2009年

たっくんの家にもうすぐ赤ちゃんが生まれます。妹のももちやんといっしょにお母さんのお手伝いを始めますが、何をやってもうまくいきません。たっくんはお手伝いがつまらなくなり…。



## はじめてのおつかい

筒井 頼子 さく／林 明子 え  
福音館書店 1977年

みいちゃんは5才の女の子。ママのおつかいで初めてひとりで買い物に行きます。出掛ける前にママとふたつお約束、車に気を付けること、おつりを忘れないこと。さあ、いよいよ出発です。



## あっちゃんのはたけ

大西 ひろみ 作・絵  
ひさかたチャイルド 2006年

あっちゃんは野菜が大嫌い。ある日、おばあちゃんから畑のお手伝いをたのまれイヤイヤでかけます。始めは「野菜が嫌いだからお手伝いしない」と見ているだけでしたが、少しずつ楽しくなり…。



## ポテトむらのコロッケまつり

竹下 文子 文／出口 かずみ 絵  
教育画劇 2016年

ポテトおばさんが植えたじゃがいもがたくさんとれました。そこで、村のお祭りにコロッケを作りみんなにごちそうすることにしました。しかし、ふつうの大きさじゃつまらないと考えたおばさんは…。



## はりねずみのはりこ

なかや みわ さく・え  
福音館書店 1998年

はりこのおばあさんは、森の洋服屋さんです。お店の手伝いで仕上がった服を動物たちに届けに行きます。自分もすてきな服を着てみたくなり色々ためめますが、どれもうまくいきません。



## できること おてつだい

くすのき しげのり 作／市居 みか 絵  
廣済堂あかつき 2015年

かけっこをしているリスくんクマくんウサギさん、「誰が一番？」と騒いでいます。そこで先生が明日の運動会のお手伝いを頼みます。「ぼくがする！」「わたしがやるの！」とまたまた大騒ぎになり…。

## まだまだ紹介します

### 『マックスとたんじょうびケーキ』

ローズマリー・ウェルズ 作

さくま ゆみこ 訳

光村教育図書 2005年

### 『おじいちゃんちのたうえ』

さこ ももみ 作

講談社 2011年



### 『どうぶつのおてつだい』

ビーゲン セン 作

永井 郁子 絵

汐文社 2012年

### 『がんばれ！ねずみのおてつだい』

あさの ななみ さく

中村 景児 え

PHP研究所 2009年

### 『どうぶつびょういんおおいそがし』

シャロン・レンタ さく・え

まえざわ あきえ やく

岩崎書店 2011年

### 『めんどりとこむぎつぶ』

小出 正吾 文

安 泰 絵

フレーベル館 2006年

### 『おばあちゃんのひなちらし』

野村 たかあき 作・絵

佼成出版社 2015年

### 『そっと』

瀧村 有子 作

まるやま あやこ 絵

PHP研究所 2016年

### 『12カ月のおてつだい』

きたやま ようこ 作

理論社 2005年



3才頃になると色々な事に興味がでてきて、パパやママのまねをしてみたいと思うようになります。まねはお手伝いの第一歩です。お手伝いをすることで、子どもの自信や責任感など「生きる力」がどんどん育ちます。まずはやりたい事をやらせてあげましょう。そして、お手伝いが終わったらいっぱい褒めてあげてください。「ありがとう」の言葉も忘れずに。

